

西宮市人口ビジョン・総合戦略策定に係る有識者会議 議事録概要

日時 : 平成27年7月17日(金)9:30~11:50

場所 : 市役所本庁舎 441会議室

1. 開会
2. 会議概要
3. 意見交換
 - ・本市人口ビジョン・総合戦略の方向性
 - ・少子化しないまちに向けて
 - ・住みたいまち、住み続けたいまちのために
4. その他
5. 閉会

1. 開会
 - ・委員紹介
 - ・西宮市挨拶
 2. 会議概要
 - ・有識者会議の運営等について
 3. 意見交換
 - (1)事務局より会議資料について説明
 - (2)意見交換項目
- (進行役)

議論して頂きたいテーマが2つあります。

「都市としての強みを活かしたまちづくり」と「人口が減少している地域への対応と高齢化対策」。

(委員)

「文教住宅都市」、「環境学習都市」というのが西宮市の強みではないか

(委員)

文教都市というところかというと、西宮の公立小中学校について、より特徴を出し、対外的にアピールすればいいのでは。

(委員)

総合選抜制が廃止になり、今は学校の特色づくりに力を入れていると思う。人口移動のデータを見ると、高齢の方が流出している。若い子育て世代がずっと住み続けるまちを目指していくのか。

(委員)

西宮市には高感度の人が出て、生活の質が高いまちとして西宮市を選んで住んでいる。特に通勤族の20代・30代が神戸ではなく西宮を選ぶといったことが若い世代の人口増加に貢献している。ずっと住み続けている人は、地域の文化などを享受することには積極的であるが、一方で個人主義もみられる。

(進行役)

高感度なユーザーはいるが、消費しっぱなしでそれを発信する人が少ないのではないかと。文化を発信する人、受け継ぐ人たち、サービス商品をつくる人が減っているということか。

(委員)

地域自治などに力を入れることを強めるべきである。

(進行役)

「クリエイティブ・クラス」をいかに集めるかといったことをリチャード・フロリダが言っている。彼は「3つのT」、Talent(才能)とTechnology(技術)、Tolerance(寛容性)の3つが必要であると言っている。

(委員)

「3つのT」という話であったが、私は、「6つのK」、すなわち、環境、健康、観光、子育て、介護、小売り(サービス含め)、中小企業の活性化が地方創生につながると思う。

大学ももっとオープンキャンパスにして、すばらしい建物があるわけですから、回遊型で楽しめると思う。

(進行役)

大学を観光施設というのはおもしろいと思う。

(委員)

中小企業の方に教壇に立ってほしい。

(進行役)

大学もそこは意識している。学生がそういった形でまちに出る。受け入れてくれる企業がある、西宮にたくさんあるが、もっとあってほしいと思う。

(委員)

学生起業家を育てる。

(委員)

小規模事業者を誘致するとあるが、地域の質を上げる場合、地域内で消費されるサービス業、地域の人が利用するサービス業が大事である。介護産業も地域の方がされると良い。

(委員)

西宮市の人口は増えているが実態はあるかということ。流行のまちで住みやすいまちというのはいいことである。一過性の流行のまちから安定したまちにするにはどうするか。

(委員)

通勤族からすると都合の良い町である。神戸にも大阪にも行きやすく、交通の便が良い。社宅がなくなっても住みたいと思う町である。鳴尾地区は物流拠点としての評価が高い。

(進行役)

2番目のテーマに展開して頂いた。地域ごとの魅力・ポテンシャル・可能性はどうかをしっかりと感じる必要がある。

(委員)

北部で農園ビジネスはどうか。空き地を農園や子どもの教育の田植え・野菜作りなどに活用する。

(委員)

市内での南北の移動が難しい。

(進行役)

市南部から三田に行く際、船坂を通ると全然違う顔がある。それをぬけて山口へ行くとまた違う。

(委員)

南部から北部に行く機会を作っていくことも必要である。

(委員)

苦楽園小学校では紙すきに塩瀬に行っている。

(進行役)

西宮市には色々な顔がある。地区ごとの魅力をどう育てていくか、情報発信していくか。

(委員)

鳴尾にもお祭りなどの歴史を感じさせるものがあると良いのではないかと。最近、どこの町に行ってもだんじりがある。

(委員)

市内の祭りは盛んなのか

(市)

西宮の北部では50世帯に1つ、だんじりがある。南部の越木岩でもある。神社があるところは大阪南部なみに盛んである。

(委員)

市民祭りは5万人程度である。戎さんは100万人なので、市をあげての祭りにはなっていない。

(市)

あるけど知らない人が多いというのは、高感度の人に響くやり方ができていないということだろう。

(委員)

人を集めるためのものと考えれば、違うアピールの仕方がある。小連体、中連体などでは甲子園に生徒を集めて運動会をやっている。

(進行役)

コンテンツが多すぎて長続きしていないようにも思われる。やったけどいつの間にか終わっている。

(市)

北部の山口地域の住民は山口に対する、塩瀬地域の住民は塩瀬地域に対する、鳴尾地域の住民は鳴尾地域に対する愛着がほかより高い。

(市)

北部の組織では、生瀬地域でコミュニティバスを作ろうと地域の方たちが取組みをしている。地域主導でがんばれるほど力がある。山口地域の船坂では学校を1校廃校にした。その後の利用方法などの協議も自分たちで何とかしようという意思が熱い。

(委員)

旧住民の熱い人と新住民との断絶はないのか。

(市)

熱心な旧住民と新住民とがうまく生活できている。

(市)

住まいの違い(分譲か賃貸などにより)により意識が異なるように思う。コミュニティ活動が高齢化して担い手がいない。

(委員)

旧住民の特徴を伸ばすこともステータスになると思う。最終的には後継者が必要なため、橋渡しが必要だが、断絶性が問題になるくらい旧住民に対するしかけがでてこないと難しい面がある。

(進行役)

違いを認識できることもすごいと思う。お互いに尊敬しあえるような関係性というのがいっぱいあると良い。寛容性と言うのは、ちゃんとお互いに尊敬しあっているということがあることかと思う。そのうえで、自然増の観点から意見がほしい。子供を産んで育てやすい環境、地域のご意見をお願いしたい。

(委員)

25歳から35歳の女性が子供を持ちにくい環境があるので、それへの施策をうてることは大事である。流行を仕掛けるということであれば、無痛分娩を増やしてほしいという声を聞いた。

(委員)

ダイバーシティが重要視されている。結婚や子育てをしても、働き続けてもらうことが企業にとって大事になっている。そのため産休明けの預ける先の確保が必要である。

(委員)

労働年齢の人が減ることは明らかなので、女性を活用することが必要である。子育て施策は、福祉ではなく産業経済施策であるという捉え方が必要となる。また、中高年の子育て終了者で退職後の60歳代の人が有償ボランティアなどで助けるといったことも考えられる。

(委員)

浜甲子園団地で空き部屋がある。社宅で借り上げて近所の人をベビーシッターをしてくれると良い。

(委員)

保育士が不足している。

(委員)

西宮市が認証した保育士などはどうか。保育料をあげた分で付加価値をつける。

(委員)

武庫川女子大学の出身者も多い。

(委員)

保育園こそ総合選抜してくれないかと思う。入園前に1園ずつまわって情報をとるのが大変である。

(進行役)

子育てが終わった人達が仕事をする、別のビジネスをする、といった流れは作れないか。

(委員)

レディスアカデミーを西宮商工会議所が主催されていた。受講者の多くが子育て中の人であり、サービス業から始める人が多かった。女性にフォーカスした支援策が必要である。

(進行役)

次の議論につなげる意見である。

(委員)

商工会議所の女性会が婚活利用を進めていると聞いたが、うまくいっているか。

(委員)

がんばっているところである。晩婚化しており、もっと若いうちに出会いがあった方が良い。子育てが終われば親の介護がある。

(委員)

小学校ぐらいで子どもとふれる機会を作ってはどうか。

(委員)

西宮太郎と花子ちゃんのストーリーをつくる。理想像(ロールモデル)があるのと無いのでは違うように思う。

(委員)

個人主義的な面がある。地域の担い手がいなくてもないかもしれないが、地域に貢献する意識の市民をもっとたくさん育てた方が良い。こういった観点からの市民の意識を知りたい。

(進行役)

いま住んでいる人がまちを評価している調査はあるのか。

(市)

定期的に市民意識調査をしている。参考となる情報があれば次回の会議でご報告したい。

(進行役)

次回に向けてご意見を整理する。魅力はいっぱいあるがわかっていない部分と、今ある魅力は持続可能なのか、西宮暮らしの生活度をもっとわかりやすくイメージしやすいようないくつかのタイプの生活像があってもよい。あと、地域間の話である。中心部の話ではなく地区をしっかりとみて、地区の魅力づくり、情報発信の仕方などを検討したい。今日の成果をふまえて次の議論をしたい。

4. その他

第2回有識者会議の開催日程は9月1日(火)15時より開催予定。

5. 閉会

以上